宗像

毎月十五日発行
発行所
宗像大社
宗像
福岡県宗像郡玄海町
電話 09406 ㊂ 1311 代
定価 一年送料共 1000円

春壽

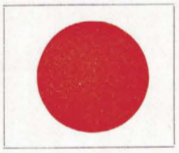
ちはやぶる神路の山をいづる日の
光のどけく春たちにけり
═明治天皇御製═

新年のまつり

宗像大社
宮司　葦津嘉之

皆さま、明けましておめでとうございます。

二月十一日には
国旗を揚げ
建国記念日を
祝いましょう



論説　戌歳かれこれ

十干十二支の天文的暦年の編成により、解り易く言えば、十二年目ごとの「えと」の巡り合せにより、種々の動物が皆人の身辺を訪ねてくる。今年は戌年、犬と書く方が解り易い。特にこの頃の若い家族人にとっては、牛虎兎と書く方が親しみが感じられよう。十干十二支と一口に言っても、文字は訓みにくい。

極端な例を執るも、琉球も日本国内沖縄県であるのに「滝落し」を「だちうつし」と訓まなければならぬとなると困ってくる。丙午（ひのえうま）が結婚の障害になり今日では進学の人数で当局を困らせるありはしまだが。

漢和辞典の戌の項によると、「十二支の第十一位、西北（にしきた）の方位、昔の時刻にては五つ、今の午後八時と記されている。戌（つちのえ）は土兄の義、十干の第五位、どうしてこの両者が組み合わされたかは全く不明で、古代中国の干支を論義し制定した学者達に尋ねるより外ない。今日障害の多い丙午（ひのえうま）に比べると無難に近い。

戌歳論義に年が少々顔を出しても本都合にもなるまい。午と言えば先ず丙午（ひのえうま）が問題だが、明治三十九年がそれに当り戦後は昭和四十一年が相当する。六十年毎に巡ってくる厄年だが、昭和の丙午は人心も風狂にまで進み明治の丙午のように結婚障害にはなっていないとするは、若い人達の常識である。事実は理想と異なし遵うのは、何の場合も同じ。中学三年生が不足となって高校進学数が激減、殊に授業料の高い私立が入数不足悲鳴をあげたのである。

迷信と侮視しても、その迷信が生きていた証拠は教学がはっきり示していた。迷信も常識的にはそれに従わないのが無難で、生きにくい浮世を平穏に生きるには何かと角を立てるのは、智者の選ぶ道ではない。南無阿弥仏と唱えながら参拝の俗衆に、平穏な顔貌を見せながら応待するのは悟道の僧衆であろう。信州長野の山野に生える「しめじ」を特に「ひらたけ」と呼ぶ地方に行ったら、ひらたけと呼ぶがよい。

犬（戌）歳の干支論に話題を遠ます。十二支の四北の方位といえば昔の時刻で五つ、今の午後八時と記されているからには、家屋の警報に当る番犬の活動の盛んなる時刻である。こうした家畜としての犬を特に忠犬と呼んで、それにまつわる伝説も多い。

郷土史家の揃等による足立山の忠犬伝説は殊に秀でている。山河の地名を冠した忠犬の伝説は、一般の興味をそそる。

先般来テレビで放送された画描映画に「名犬ジョリィ」と題する忠犬ものが連続、少年達の食後の良き贈りものであった。名犬即ち忠犬は欧州でも好評を集めるのは日本と変りはない。

桃から生れた桃太郎の鬼ヶ島征伐の童話は名高い逸作である。日本一の吉備団子をお婆さんが門出の桃太郎に持たせると早速家来が二匹できた。犬と猿、それに雉も加わって、三匹のお供は吉備団子の恩恵で忠実にそれぞれの任務を果し、凱歌をあげて戦利品の宝物を運ぶにも力が加わった。

彼等はいずれも十二支の同人だが、討伐のお供を強制されたのではない。自由の意志で自発的に参加を申出たのであるが、それにはお婆さんの心を籠めた吉備団子の魅も大きかった。

筆者が小学生の頃桃太郎の歌を唱歌の時間によく歌わされたことを思い出す。話はちょっと逸れるが、今テレビや新聞によく出てくるポーランド滅」の歌もよく歌った一節も哀れやその昔滅ぼされたるポーランド」だった。レーガンとブレジネフが核軍備の縮引を続けているが、ポーランド人民は食糧不足で飢餓に苦しみ核軍備どころではない。

ポーランドの暗いニュースは米ソ主脳の腹仕合いに待つとして、犬の愛玩するわが国の古伽話に移ろう。花咲爺の伽話は子供の頃興味を持って聞いた。善悪二人の老人の登場に殿様まで参加しての賑やかさは、伽話の中でも秀逸であろう。結論はどれも同じ、善が栄えて悪が敗れる教訓を含む。

犬に異り家畜として養われる猫は、行動が隠密的で騒動劇では逐命を演ずる。お座敷に在っても犬ほど明るくない。渋谷駅の忠犬ハチ公の話は有名だが、忠猫が帰らぬ主人を待ち続ける事件はありそうにない。戌年の犬公万歳

☆　☆

年頭にあたり、神郡むなかたの聖地より、まず聖寿の万歳と皇室の弥栄を心から、ことほぎ申上げます。

例年のことながら十二月三十一日、すなはち晦日の大祓の儀式によって過ぎ去った一年の罪穢（つみけがれ）を祓い、清々しい心身で新年を迎へます。

宗像の新春のまつりは、この大晦日の暮色が濃厚を増す頃から始まります。

闇の深さと共に自動車のライトは増々冴え、祈願殿前の大駐車場は初詣願を待つ車で埋めつくされて行きます。

やがて午前零時を期して、ゆく年に別れを告げ、来る年を迎へる太鼓の音が浄闇の境内にこだますると、本殿前の神門が一気に開かれます。

その一瞬参拝者はドット神前に押よせ、庭燎のかがり火が一段と明るくなり、拝殿の前、神門の周囲は、人々の波で埋めつくされます。

ある人は交通安全を、或る人は家内安全無病息災を、またある人は商売繁昌を、と思い思いに様々な祈りが捧げられることでありましょう。

この間、神楽殿の森は、打つ拍手がこだまし、神前に真摯な祈りを捧げる人々の清々しさで、ご社頭は満ち溢れます。

このように年頭に際し、心を新たにして神前に誓をたてる人々のまことの祈りは、毎年変ることなく繰り返へされます。

宗像大社では、まず午前七時少し前に高宮斎場と云われる古代祭場「ここは御殿を始め諸建物は一切なく、石組の祭場になっている」にて高地主祭が行なわれます。

このまつりは、午前七時から行なわれる高宮の元旦祭に際し、地主の神様に、この土地は人間のみならず、鳥や獣や昆虫に到る迄、みんな自由に生活する権利がありますが、おまつりの間しばらく、神主が占有しますのでお許し下さい。と土地に了承を得るまつりであります。

そして定刻に高宮の元旦祭が始まります。

ここは宗像大神御降臨の聖地とされる霊場であり、宗像大社で行なわれる総てのまつりは、まずこの高宮斎場から行なわれます。

やがて午前八時になると総社（辺津宮本殿のこと）にて元旦祭が斎行されます。

いづれも宮司が斎主となり、権宮司、祢宜、権祢宜によって奉仕され、新玉の年の始めに際し、まづもって皇室の弥栄と国家鎮護、五穀豊穣、産業文化交通の発展が祈念奏上されます。

このように元旦のまつりと祈りの中で、神郷宗像の新春は明けてまいります。

その中で私共神職は、崇敬者の皆様をはじめ、御社頭の参拝者一人一人が、本年もれなく宗像大神の御加護をいただき、幸多き年であってほしいと念するものであります。

昭和五十七年　1982

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡日産自動車株式会社
取締役社長　石金博隆
福岡市博多区千代1丁目21番37号
電話 (代) 641－3161

福岡日産モーター株式会社
代表取締役社長　伊藤隆治
福岡市博多区東比恵2丁目14—33
電話 (代) 441－2323

日産プリンス福岡販売株式会社
代表取締役　永田千秋
福岡市中央区平尾3丁目5－3
電話 (代) 531－9561

NISSAN
—今年も安全運転を心掛けて下さい—

日産サニー福岡販売株式会社
代表取締役社長　小田切忠夫
福岡市博多区半道橋1丁目9番10号
電話 (代) 411－4132

日産ディーゼル福岡販売株式会社
取締役社長　中尾一郎
福岡市博多区榎田1丁目4番3号
電話 (代) 411－1831

日産チェリー福岡販売株式会社
取締役社長　金森清
福岡市博多区半道橋1丁目10番10号
電話 (代) 471－1123

年頭の御挨拶

宗像大社氏子会会長
中村清之

昭和五十七年壬戌の新春を迎へ、皇室の弥栄を祝福し、宗像大社御神徳の益々の御発揚を希ひ、氏子の皆様の御健勝と御多幸を祈念致します。

戦後三十六年を経て本年は世界的には、ポーランドの問題に対しソ聯の圧力、又中東産油国の紛争等益々紛争する状況であります

が、此の渦中にあって、鈴木内閣の外交は多事多端であると思はれます。国内に於ては、戦後の教育の偏向は三十年を経過しても猶正常でなく、依然として民主主義の誤れる解釈に依り勝手主義が横行し、社会及び他人の権利を無視して、我田引水の主張で紛争の多い事は残念でなりません。

中学生や高校生の学校暴力、又家庭暴力等偏向教育と、親の過保護と、社会の倫理の困乱に原因があると思います。

只我が神郡宗像に於ては斯る事が、絶無とは言へなくとも、他地区と比し大変少い事は歓こばしい事であります。

現在の我国の教育に於いては完全な日本歴史は教えていないことを知りました。

歴史の教科書には、第十六代仁徳天皇以後の事は記載して居りますが、其の以前の事は神話として記録がありません。従って、天照皇神、神武天皇の御事蹟は一切見当りません。

西洋の緒国にも国の起りや、宗教の始めには時に神話がありま す。何故に日本の歴史は日本の神話を抹殺するのか了解に苦しみます。

我国の食糧問題を考へる時、是も亦憂慮に堪えません、戦後食糧不足の為め国民全部が飢餓に苦しんだ時、米国から食糧の後援により肉類及び小麦大豆類の輸入を受け大事な時期を切り抜け一畝の田畑も大切にしていたが、現在では肉類及び麦類の食糧を好むことになり米食と離れる人が多いとも不拘技術と機械の進歩に依り米の収入は随分増加したる為め、減反しても猶余り其処置にも困る有様になって居ります。

然るに食糧全体の消費量の約八割は外国より輸入の有様では、其対策と解決は重要な問題で非常な事件が起った場合は実に寒心に耐えません。

食糧問題に対する専門学者の研究及び政府の適宜の対策を念願する次第であります。

神社本庁に於いては、国旗の掲揚と、教育勅語の普及に努力と指導をされて居りますが、現在の我が国の状況は国の祝祭日に国旗を出している家が各町村共至って少いのであります。

私は国旗掲揚は愛国心の発揚と思います。神郡宗像に於ては、祝祭日には各戸共、挙って国旗の掲揚を念願致します。

年頭の御挨拶

宗像大社沖・中両宮奉賛会長
河野幸人

昭和五十七年の新春を迎えるにあたり皇室の弥栄を寿ぎ宗像大社の御神徳の発揚をお祝い申し上げあわせて皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

客年十一月末に鈴木内閣の改造をみましたがその数日後の新聞に今回の新閣僚には改憲論者が多く右傾化云々という将来を諷刺する記事が出ておりましたが私は誠に結構で喜ぶべき事だと思いました。我が国の世相はどうでしょうか、子が親を殺し、生徒が先生に暴力を振るい、同僚にリンチを加えたとか、放火、万引、強盗等々忌まわしい事件が報導されない日は無く然も犯罪は弱年化の傾向にあり、この原因はと云った場合大方の人は教育のありかたが問題ではないかとの答が返ってくると思います。それではその教育を正しいものにし、憂うべき世情をよくするにはその基盤である憲法を改正しよき日本精神に立ち返ることはでないかと考えます。公明党も安保防衛問題について政策を転換し自衛隊の一部合憲説を公表しているし又さきにいう改憲指向かた内閣とを考え合わせる、その気運は次第に熟しつつあるかに思われ、早い時点にアメリカから与えられた憲法を目前のものに改正することを望みます。そして自衛隊の拡充防衛力の強化並びに靖国神社の国家護持等国家意識の昂揚と教育の淵源を見なおし、その正常化に努め敬神崇祖の念と愛国心の涵養につとめることが最も望ましい事と考えます。我が国では右傾化とか軍国主義の復活とか事あるごとに騒ぐ人がありますが日本の現状も又将来も戦争に結びつける材料は全くなく又戦争を好む者はない筈です。私達が銘記すべきことは日本の国防と連綿たる繁栄ではないかと思います。

ところで大島は宗像三女神のうち沖津宮に田心姫神、中津宮に湍津姫神の二姫神が鎮座されておりますが沖中両宮の奉賛会が発会されたのが昭和二十一年八月二十七日（憲法公布は十一月三日）で役員会の結果負担金は一戸拾円以上と決定されたが最終的には納入者は三百八十二戸で平均九円四拾銭であったが負担金と現在の会費は随分事みが違うように思われます。

又本会は物的目標として ①本殿の改築 ②御嶽神社の改築 ③末社の整備 ④手水舎の新築 ⑤垣の新築 ⑥参籠殿の拡張 ⑦神苑の植樹、精神的目標として

①、日本民族と神との不離関係の徹底

②、願う事より感謝することが大切

③、敬神思想の徹底　普及は幼少のころから参拝させる

④、初穂奉献は感謝の赤誠の現れ多少よしあしを考えるは人にして神は誠心を受けられる

⑤、建国以来の氏神氏子の密接不離の関係を徹底せしめ祖先の心を心として氏神中心に思想を統一し平和村の建設に努力することと記録に残されております。

現在は世帯数三百五十数戸のうち奉賛会員は三百二十戸内外で会費四百円で、祭典氏子会、境内整備、敬神婦人部助成等に使用しております。

終戦直後国家の庇護も援助も全く無く窮地におかれた時に協力一致して神に仕え奉賛会の基礎を確立された先輩の熱意と行動力は神郡宗像にありて敬神模範村と称えられた当時村の中堅として活躍された方々であったればこそ出来たことと心から敬意を表します私は祖先の心を継承し先人の偉業を次代へ伝える責務を痛感し益々敬神崇祖の念を深くし沖中両宮を生活の中心としてその御神威の隆昌を祈り平和で豊かな村づくりと氏子の皆様の繁栄に御加護を念じ新年のあいさつといたします。

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

昭和五十七年元旦

宗像大社責任役員会
宗像大社氏子総代会
宗像大社沖中両宮奉賛会

宗像大社責任役員会
代表役員　葦津嘉之
責任役員　吉本弘次
〃　倉田興人
〃　中村清之
〃　立石昇
〃　河野幸人
〃　占部真太郎
〃　小畑初雄
〃　宇都宮弾

宗像大社氏子総代会
会長　中村清之
副会長　立石昇
〃　河野幸人
〃　小畑初雄
副会長　尾嶋肇
監事　黒石雅資
〃　吉田寿夫
〃　脇野十郎

事務局（宗像大社社務所内）
幹事長　石橋清寿
幹事　堤宏
高向正秀
渡辺秀丸

宗像大社沖中両宮奉賛会
会長　河野幸人
副会長　沖西彰
〃　佐藤鶴吉
〃　遠藤久一郎
〃　原藤雄

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

昭和五十七年元旦

宗像大社社務所

名誉宮司　久保輝雄
宮司　葦津嘉之
権宮司　宇都宮弾
祢宜　養父守
楠本正
宗像清文
権祢宜　太田可愛
斎藤惇
升谷勝良
大野宗康
山田幸雄
神島定
松本肇
石橋清寿
堤宏
東弘
高向正秀
出仕　戸高八徳
玉木正之
渡辺秀丸
巫女　市津裕子
森郁子
花田博美
大森久美子
北野重子
小野三恵子
占部智恵美
今里文香

巫女　大城佐予子
早川まり子
萩原恵美香
中村里美
吉武町子
七田千恵
力丸憲子
雇員　深田玲子
吉武恵梨子
傭員　渡辺和夫
大西長生
吉武隆則
花田清己
嶺千鶴子
大西松枝
吉田タミ子
広橋康子
中野富子
目原ヒサエ
局員　河窪奈津子
嘱託　真武五郎
堺豊三郎
石井忠
夜警　橘一幸
松崎孫四郎
講師　中村吾郎
小方百枝

阿蒙少言

交通や通信の機能が近時極度に発達し、各国の報導関係者の活躍も飛躍的に伸びて世界は一つになりつつある感さえある。そしてどの国も優劣の差はあるが特に身障者の保護が画期的に進んできた●身障者を蔑視したり邪魔者扱いした時代は、遠い昔の史籍にだけ残ってゆく。文明開化と言うなら、こうした方向の喜ぶべき傾向を第一に取り上げてよかろう。言語風俗習慣等は急に融合するわけにもゆかないが、溶けあって一つの楽園化が期待し得る●夏目漱石の「赤シャツは眺望してしきりにいい景色だと言っている」となろう。又民謡の「何の因果か貝がらこぎきなさる、色は黒うなる身はやせる」ともなろう。そして笑顔で話し合えれば対立も抗争も消えてゆく●然し、地球全面の様相は赤シャツの景観や魚村の貝がらこぎのように、笑顔で始まり笑顔で終るほど平和ではない。軍備に核が登場して各国主脳の智略は冴える。第二のヒロシマをどの国でも運命づけてはならぬと、核登場に反対の平和論を切りだす政治家もあるが、報導関係えの顔作りの感が深い。狐と狸とのだまし合いは、古いお伽話だけではなさそうだ●一国の運命を左右する政治家は、どの顔もテレビに老齢を見せる。人間は誰も自己の生命を終るまでこの世でいつか荷った課題を守り通すものらしい。特に文筆芸術武技等に精進した人は、名声を超えて執念を捨てない。その傾向は他の動物でも屡々見せるところである。身障者の場合など殊に人目を引く●「五月雨を集めて早し最上川」は風流と言うよりは感動である。「吉野川には筏を流す、流す筏にのぼる鮎」は急流を泳ぐ鮎の魅力を思わせる。今は交通機関が発達して昔の文人墨客の筆のあとを訪ねるのも容易だが、暇と懐工合がそれを許さねば苦笑の外はない。（白雲）

昭和五十七年　1982

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

愛される車をめざして TOYOTA　福岡のトヨタグループ

トヨタオート福岡株式会社
取締役社長　金野宗次
福岡市博多区竹下2丁目2番31号　電話大代(092)411-5511

福岡トヨタ自動車株式会社
取締役社長　金子宜嗣
福岡市中央区渡辺通り4丁目9番25号　電話(代)761-3331

トヨタカローラ福岡株式会社
取締役社長　金子宜嗣
福岡市中央区長浜2丁目1番5号　電話(代)712-7111

トヨタオート北九州株式会社
代表取締役　中村武文
北九州市八幡西区皇后崎町14番6号　電話(代)642-2111

福岡トヨペット株式会社
代表取締役　鈴木快康
福岡市博多区東光1丁目6番13号　電話(代)411-1121

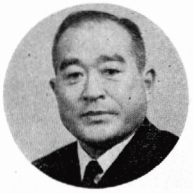
トヨタカローラ博多株式会社
取締役社長　久恒鑛造
福岡市博多区豊2丁目3番50号　電話(代)441-2111

トヨタビスタ福岡株式会社
取締役社長　喜多村禎勇
福岡市中央区薬院1丁目5番8号　電話(代)714-6661

新春の御挨拶

宗像郡町村長会長

髙橋半三



昭和五十七年の新春を迎え私共の総民神であらせられます宗像大社の御神徳の御発揚されることを希ひ氏子皆様の御健勝と御多幸を祈念致します。

本年は紀元二六四一年、西暦一九八二年に当巻間一九八〇年代は国家内外多難の年と言われています。

鈴木内閣も組閣第二年次に当り、永年に亘る赤字国家予算克服のため臨時財政調査会の答申や、行政改革の閣議決定に従って緊縮予算を成立させました。其の結果は地方自治体に赤字は転嫁され焦点の解決に重視されて成立しました。何れにしても、今日の日本は戦後国民の勤勉により経済大国を築き上げ、世界羨望の的であり又治安においても世界随一であり、昨今国民の日常生活には一抹の不安さえ覚えます。

「栄華を誇りしローマは、百年を待たずして」、日本又今日の繁栄がいつまで続くかと思う日もある昨今であります。

「吾等の崇敬する宗像大社は、国家鎮護の守護神であらせられ、三千有余年、父祖伝来奉仕し来り処であり宗像族と言われて来ました。神社の神域も整備され真に神神い限りであり、宗像大社の御神徳を体して世相に処することを吾等宗像族の務でもあろうかと考えます。

年頭の御挨拶

宗像郡大島村村長

中村国美弥

明けましておめでとうございます。

年頭に当り氏子の皆様の御多幸と繁栄をお祈り申し上げます。

私達の郷土「宗像」は、宗像三女神の御加護により、福岡、北九州都市圏のベットタウンとして、又生鮮食糧品の供給基地として、そして悠久の歴史を秘めた観光地としても大きく発展して参りました。

宗像地区において本村は、四面を海に囲まれた好環境で、漁業を中心とした住民の生活であります。

沖ノ両宮の御祭りしており、その昔より島民の敬神の念は強く又神社に対します奉賛体制は整い、事に当る村民の団結と熾意は伝来の精神であります。このような美風を残しました本村は「心も暮しも豊かな村作り」を村発展のテーマとして、生活環境の整備、産業基盤の整備充実と逐次努力いたして参りましたが、離島と言うハンディを乗り越え後進性を取除くには交通体系の整備が第一条件であり昨年七月、永年の夢であり、村発展の起爆剤として計画いたしておりました渡船の大型化、「フェリー」の就航と言う、本村発足以来の大事業の実現を見たわけでございます。これも村民の一丸となった結果であり真に郷土を愛する心と、敬神の心のあらわれと感謝いたしております。

本年は我国においては、内外ともにきびしい年になりそうですし特に国の財政再建による地方財政の運営にも厳しい年になるとうであります。本村も志ましたまた残されました諸問題解決のための諸施策の実施を余儀なくされております。

福岡都市圏における生鮮食糧品の供給地として又自然を生かしたレクリエーション地として、理想の郷土、住みよい島を目指して、努力したいと考えております。

ので、宗像の皆様のご理解とご指導を仰ぐ次第であります。

みな様の御多幸と御繁栄をお祈りして新年の御挨拶と致します。

新年の御挨拶

中・沖両宮海洋神事奉賛会長

大島漁業組合長　遠藤案山子

あけましておめでとうございます。

昭和五十七年の新春を迎へまして皆様方の御健勝と御多幸をお祈りいたしますと共に、宗像郡内漁業者の益々の大漁と海上の安全を心より祈念いたします。

私共海津神事奉賛会の年中行事の一つでありまする和布刈上の儀も二月に入りますと準備に入りますが郡内各漁業から、玄海の早春の若布の御加護により、福岡、北九州都市圏のベットタウンとして、又生鮮食糧品の供給基地として、そして悠久の歴史を秘めた観光地としても大きく発展して参りました。

宗像地区において本村は、四面を海に囲まれた好環境で、漁業を中心とした住民の生活であります。

沖ノ両宮の御祭りしており、その昔より島民の敬神の念は強く又神社に対します奉賛体制は整い、事に当る村民の団結と熾意は伝来の精神であります。このような美風を残しました本村は「心も暮しも豊かな村作り」を村発展のテーマとして、生活環境の整備、産業基盤の整備充実と逐次努力いたして参りましたが、離島と言うハンディを乗り越え後進性を取除くには交通体系の整備が第一条件であり昨年七月、永年の夢であり、村発展の起爆剤として計画いたしておりました渡船の大型化、「フェリー」の就航と言う、本村発足以来の大事業の実現を見たわけでございます。これも村民の一丸となった結果であり真に郷土を愛する心と、敬神の心のあらわれと感謝いたしております。

本年は我国においては、内外ともにきびしい年になりそうですし特に国の財政再建による地方財政の運営にも厳しい年になるとうであります。本村も志ましたまた残されました諸問題解決のための諸施策の実施を余儀なくされております。

福岡都市圏における生鮮食糧品の供給地として又自然を生かしたレクリエーション地として、理想の郷土、住みよい島を目指して、努力したいと考えております。

ので、宗像の皆様のご理解とご指導を仰ぐ次第であります。

みな様の御多幸と御繁栄をお祈りして新年の御挨拶と致します。

第三六回　宗像大社歌会詠草

毎月一日〆切　詠草到着順

八幡西　磯谷　麥雨
田島　吉武　武雄
運かなる波間に見えしともびの沖津宮居をおろがみまつる
鐘崎　山脇ふみ恵
八十路越へ気力で生きる二の我も健やかだけを祈る元旦
原町　八波　五月
今日も亦小淋しき一日なりき眠れば明日が直ぐ来てしまふ
津屋崎　内田　久美
深緑と常緑樹の中に鎮もりて黄櫨は艶やかに紅葉装ふ
近年燃油を始め、漁業資材の高騰等によりまして漁業環境は益々きびしさをまして居りますが、本年も宗像大社の御神徳と御守護によりまして益々漁村が栄へまう様にお祈りいたしまして新年の御挨拶といたします。

たしておる所でございます。

本年は我国においては、内外ともにきびしい年になりそうですし特に国の財政再建による地方財政の運営にも厳しい年になるとうであります。本村も志ましたまた残されました諸問題解決のための諸施策の実施を余儀なくされております。

福岡都市圏における生鮮食糧品の供給地として又自然を生かしたレクリエーション地として、理想の郷土、住みよい島を目指して、努力したいと考えております。

ので、宗像の皆様のご理解とご指導を仰ぐ次第であります。

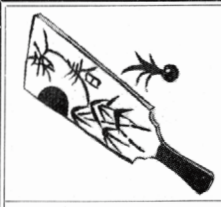
みな様の御多幸と御繁栄をお祈りして新年の御挨拶と致します。

大神の与え給いし吾等の郷土宗像は、四ツ塚連山と浄々たる釣川の流れ、自砂青松の白月松原、紺碧の玄界灘と都塵にまみれし人達の、いこいの場でもある此の地を開発することも神威に答える所以であります。

宗像は、北九州市、福岡市間百万都市の中心であり昨年の、宗像市誕生、大島村フェリー就航等画期的な発展がある。今後更に新旧住民対和を交えて宗像大社を中心に進むことが御神威に答える所以であろうと思います。

年頭に当り皆様の一層の御繁栄をお祈りして御挨拶と致します。

津丸　古賀　文月
年の暮せまれば物入り多かりき祝儀不祝儀忘年会と
武丸　原田まつ代
師走日和照紅葉はの映ゆる庭硝子戸越しに眺めあかなく
宮田　片山　一
師走中九十を過ぎて畑を打つ妻と鍬とる幸と思はむ
曲　天野トモエ
殊の外紅葉の映ゆる年なりき隣の山もわが庭木も
福間　広渡一寿軒
羽根突きの娘のすり傷に親の哽つけて慰さむ松の内かな
福間　二宮　末子
古希をすぎ八十路の坂は花ざかり祝いまっらん島砂の園
吉留　白木うめの
草刈り機のエンジン整へ刈りすすむまだ子らの荷にかけてはならぬ
古賀　吉武　邦夫
早朝の渚を跣に跨み跡水際を鵜の連りあさる
田久　立花　勇雄
朝まだき土手の草刈る鎌先がカーブする車のライトに光る
日の里　清原　絹代
新春を迎うに願うことのなく生かされいるをしみじみ思う
大島　藤田よし子
癒ゆる日のなき弟故里の秋が見たし目を閉ぢて言ふ
大島　河野　英子
霜月やミラノの娘如何ぜん鏡に吾れの白髪ふえつ
大島　本田よしえ
登りゆく密柑畑秋の陽に枝もたわわに黄に輝けり
名古屋　野崎　傳三
新春のひかり照りそへ離れ家の母の居せる障子明るし
田久　小方　実
沖津宮の立像を迎え新年の宗像市庁舎は厳然とあり
香椎　桜井　ツ子
銀行への遺問ふ答えをとめ子は花時計目当てに教へ呉れたり
田熊　鷲津かつ代
今年もまた敬老年金をいただきぬ病身九年を経ふと経て
戸畑　田中ハツセ
朝の霞ひくく流れ椿をひき外輪山を二分けにする
箱崎　吉村　三郎
さわさわと畷に渡る風の音銀杏落葉の舞いて寂しに
東福間　山本　夏枝
柾木の実に下がる雨露の万華鏡小さく小さく楢木をつつ
鐘崎　村田　四郎
釣りたての魚を割きて洋出に酒かたむけていたらえり
徳重　石松や寿子
紅き葉の楓はさみて障子はる正月近き曉る日に
池田　永富　臻
しばらくは林間に遊びて昼くらき木立の中を通渡堂に来ぬ
津丸　藤田　肇
日本のベスタロッチと呼ばれつつ教育神興の名を高めたる師よ
東郷　藤崎　辰子
草を引く土の中より現はれて青き蛙が眼を見開けり
津丸　松尾　豊
吾が齢重ね来しはさもあらばあれ弟八十路に跨み入りしと言うに
田熊　力丸　一郎
散るもみぢ緑色濃き庭木木に君の手入れのあとの忍ばる
田熊　今村　重刀
山茶花の散りしく庭に木蓮の蕾は早も芽ぐみそめたり
東郷　田中　春子
サミットの席に赤シャツのレーガンは満面もなくその意を通す
福間　中村　勇
つはぶきの不揃ひ咲く石段を登りつむれば神の森
津屋崎　谷口　礼子
新紅のほっぺしるが如出る血の指の先なれど妙になつかし
原町　中村　幸
吸物に嫁のれたる碧荷の花またしく季節の香りをはなつ
大井　吉田　和子
座布団も炭も恵びきて暖かき冬日の縁にひとときをゐる
八幡西　大和　竹美
切支丹の跡を訪ねて秋深く紅葉燃ゆる農に来る
深田　中野　節子
緋の袴はきたる巫女が神官の水色の袴の続び縫へり
武丸　立石ろせ乃
わが畑の隣に小さき家が建ち老婆がひとり住みてつづけき
日の里　後藤　君代
島山の木深き中にある畑草やく煙の幾筋も立つ
田熊　有田ゆり子
柚子風呂をたこと置ひし柚子の実を急のお客の料理に使ひぬ



昭和五十七年　1982

交通安全宗像大社の　御神徳をたたえ奉りて

謹んで新年の御祝詞を申し上げます

福岡スバル自動車株式会社
取締役社長　中井　隆
福岡市博多区東光二丁目六番八号
電話代表 411 八一三一番

福岡いすず自動車株式会社
代表取締役　山下哲也
福岡市博多区東比恵二丁目十六番二十三号
電話代表 411 一五三一番

福岡ダイハツ販売株式会社
代表取締役　内山　学
福岡市博多区東比恵四丁目十番十一号
電話代表 411 一三三一番

株式会社　マツダオート福岡
代表取締役社長　中島国彦
福岡市博多区東比恵四丁目九番十二号
電話代表 411 六〇三一～九番

福岡日野自動車株式会社
取締役社長　植竹陽介
福岡市博多区平代六丁目一番六十六号
電話代表 641 一一七一番

九州三菱ふそう自動車販売株式会社
取締役社長　上田　昇
福岡市東区箱崎七丁目七番二十七号
電話代表 641 八一八一番

宗像大社歌会
俳句作品集（三八）

八幡西　磯谷　緑雨
八十爺石段あえぎ初詣で

鐘崎　岩瀬　辰夫
予定表作る師走の妻であり

津屋崎　井浦　良介
落穂拾う真昼の鳥に侮られ

福間　広渡一寿軒
咳こめば風邪うつさじと孫を避け

福間　二宮　末子
お年玉背の子までが手をのばし

田熊　安部　ゆき
豆盆栽売りつけられて時雨来る

名古屋　野崎　傳三
野仏を包む冬草風払ふ

久留米　入江　柳江
短日や雨の下日の荒庭も

宗像市　力丸　一郎
珍しく白を装い師走入り

藤沢　井上玄洋子
一とせの神の恵みや札納め

田島　有吉　唐水
タコ焼きの香りなつかし初詣で

道徳を世界の言葉にしよう

福岡県議会議員　伊豆善也

昭和五十七年の新年を皆様と共に目出たくお迎え出来ましたことをお喜び申し上げます。

私達の守護神、宗像大社の昭和大造営後の諸造営工事も着々と進んでおります。昨年は靖国神社より、両陛下の三十数回に及ぶ行幸啓を仰いだ、他に類を見ない由緒ある斎館を移築復元した儀式殿が竣工致しました。

このように裏伊勢としての神域に、益々荘厳さが重くなって参りました。又御神徳の御恵みも宗像は勿論、天下太平のためにより一層遍く及ぼされるようになりましたことをお祝い申上げます。

私も昨年はお蔭様で議員生活十周年の行事を、皆様の御協力により取り行うことが出来ました。この二十年、恙無く過しいささかなりともお役に立てましたことを感謝致しております。

その間「国造りは人造りより」をモットーにして、教育問題に心血を注いで参りました。社会教育、家庭教育の重要さは勿論ですが二十一世紀の日本へ夢と希望を托すべき青少年の育成、学校教育に特別な配慮を致して参りました。

そこには、それなりの成果があがったのではないかと自負しています。これも偏に志を同じうする方々の御力添えに外ならないと感謝致しています。十年一昔、これを区切りとして心を新により一層の精進努力を致す覚悟です。

今思い出しますことは、宗像大社の復興と日本人の心を取りもどすために、その生涯を捧げられました、出光佐三翁（出光店主）が、昨年三月七日に九十七才の天寿をまっとうされ永眠されました。

私も皆様と同様に、店主にこよなく敬愛の念を抱いて参りました。「日本人の心のよりどころ」としての店主が占められた存在は偉大なものであったと存じます。そこには空虚な寂寥感を禁じ得ないものがあります。

戦後、私達日本人は、数千年の歴史の中に培ってきた日本人の心を旧来の陋習として、民主主義の名のもとにその殆んどを一朝にして放棄してしまいました。

明治の廃仏毀釈にも似て、そこにはもう少し慎重さが必要ではなかったでしょうか。

すべての人間は平等にして自由を享受し、個人の権利は尊重されねばならない。この言葉をみるに全く素晴らしい理想郷の存在を思わせます。規別の枠がなくなった我々は、個人の能力が自由に発揮できるようになり、科学、文化、経済等々諸々の面で世界に類を見ない程発展を遂げて参りました。

しかし伝統に基づく民族の誇りと、歴史を忘れた文明と経済の発達は、砂上の楼閣にも似て、脆くも崩壊します。

その矛盾は早くも訪れてきました。その事は連日の如くマスコミが賑々しく報ずるニュースより知ることが出来ます。特に親子関係、師弟関係の倫理感の欠除は論外です。校内暴力は最も心を傷める所です、三尺下って師の影を踏まず、神聖な教育の場は土足で踏みにじられています。

最近次第に精神的なもの、伝統的なものが見なおされるようになって来たのは喜ばしいことです。

最近な例として食生活に見られます。パンにバターが総べてであるかの様に喧伝され、あっさり米飯を捨てました。所が此の頃では米飯にみそ汁が最高の健康食であり、野菜も有機農業が優れていることが明らかになっています。

豊葦原瑞穂国は我が国の自称であります。そこには農耕民族の特性が醸し出され、日本人の心が培われてきたのです。精神文化、生活習慣には伝統があります。

店主は、日本人によって否定された伝統を回復し、本来の姿にもどすべく左顧右眄することなく信念に基づいて心をくだいてこられました。「資本は人なり」の理念から人間尊重の経営をなされました。労働組合、出勤簿、定年制、馘首がない。そこには相至信頼以外に何物もないと思います。

「修身斉家治国平天下」と言う孔子の言葉があります。親の子を育む愛情、子の親に捧げる孝心は日本伝統の「家」から生じたものです、そこを基盤にして互譲互助、奉仕、恩、愛国心と発展的に日本独得の道徳が即ち日本人の心が育成されてきました。又、店主は「道徳は西洋のモラルとは違う、道徳を世界の言葉にしよう。そうなれば世界は平和になり、人類は幸せになる、道は遠いだろうが私達が一日も早く本来の日本人に還って世界の人に見せなければならない。それが日本人の世界的使命である」と説かれています。

戦後三十七年、人の齢に例えるなら而立はおろか不惑の域に達しようとしています。もう迷うことなく自信を以って日本人の使命の遂行に邁進すべき秋です。

この精神荒廃の激しいわが国でその本来の心を取りもどし、若き世代の教育に全精力を傾注すると共に二十一世紀を託し、世界人類の師と仰がれる日本人になろうではありませんか。

そのために重ねて申し上げます、店主が説かれた「道徳を世界の言葉にしよう」を具現するために、塗は遠くとも、愚公山を移す、の譬えもあります。

全精力を注ぐことをお誓いし、皆様の御指導御鞭撻をお願い致しまして、新年の御祝詞と致します。

年頭の御挨拶

福岡県議会議員　花田新太郎

あけましておめでとうございます。本年がよい年となりますよう心から祈念いたしております。

私は昨年九月ポーランド、チエコスロバキヤ、ブルガリヤの本欧三カ国とトルコ、ギリシヤ、エジプトの中東三カ国を視察しました。

とくにポーランドは自主労組連帯の活動が非常に活溌で世界の注目をあつめていた時機であり、連帯の本部があるグダニスク市を訪問、連帯本部事務所でワレサ議長は不在でしたが他の幹部と長時間懇談いたしました。ワレサ議長の部員は組織人九百万といわれる連帯の議長の部屋にしては極めて簡素で小さいものでしたが小さな議長の机の上と壁にポーランド出身のパウロ二世法王の写真がかざってあるのが印象的でした。

私たちは「ソ連の軍事介入はあると思うか」など卒直に、つぎつぎに質問しましたが、幹部たちもびっくりするほど大担な答弁をしました。結論は「われわれが理想とする政治形想は世界中どこにも実現していない」「社会主議とはなんであろうか、私たちは模索している」「私たちが今もっとも必要としているのは民主主議である」「連帯は民主主議を求めて闘っている」ということだったと思います。九月のグダニスクはもう日本の冬の寒さでした、農地や利用可能の国土の広いポーランドに食糧不足という時態に疑問を感じました。

エジプトは夏でした、暑さは峠をこしたといわれていましたが日中温度は四十度を越しており、ナイル河の西側に緑地があるだけで国土の九十五%は沙漠というエジプトに豪華な古代文化がどうして発生したのか最后まで不思議でした。

首都カイロに到着した日、サダト大統領は反政府分子千数百名を逮捕しました、市内はものものしい警戒でした、その夜テレビで大統領は長時間演説を行っておりました、言葉は判りませんが聞いている群集の表情は白けておりとき折り失笑のような笑い声をききました、極端に貧富の差がひどく、貧しい大多数の国民が独裁や軍政に反撥し民主体制を熱望している姿が身にしみるように感じられました。観光以外みるべき産業もなく、大きなホテルは全部アメリカ資本というエジプトの夜明けは遠いと感じて帰国しましたが、数日後サダト大統領暗殺のニュースに驚いたわけです。

主義も政体も両極端なこのポーランド、エジプトの国民は同じように熱烈に民主主義、民主体勢を求めています。

わが国の民主主義は他動的要素があったにせよ一定の前進をしてきたと思っています、民主主義の一つの内容である福祉政治も経済の成長とともに一定のレベルに達しました、しかし不況対策に費消した八十兆円を起す赤字国債解消のため土光前経団連会長が会長をつとめる第二次臨時行政調査会が「五十七年度に緊急に着手すべき行政改革」について答申を行い、政府は命運をかけて行政対策を宣行せんとしています、結果として福祉、農政などが削減の対象となっており、反面国防策は増加しています。従って絶対平和主義、人権尊重と保障、福祉主義を内容とする憲法との矛盾が拡大しているようです、日本の民主主義も前進するか、後退するか大きな岐路に立つ年となるような気がしてなりません、お互に政治や経済を学びつつ住みよい民主的な平和な日本を築くため本年もともに頑張りましょう。

賀正

玄界灘の景観を一望出来る
シーサイドの名門一流コース

西日本開発株式会社
玄海ゴルフクラブ

福岡県宗像郡玄海町
電話〇九四〇六②二二三三㈹

迎春

謹しんで新春の御祝詞を申し上げます
みな様のあたたかき御指導により、「宗像」も二十二才の正月を迎えました。
今後とも旧倍の御鞭撻と御協力をお願い致します。
みな様方の御多幸と御健勝をお祈り申し上げます。

昭和五十七年元旦
「宗像」編集部

節分祭御案内

拝啓　寒冷の候、貴家益々御清栄の段慶賀に存じます。
扨て、当大社恒例の節分祭を左記の如く斎行致しますので御参拝下さいますよう御案内申し上げます。

記

日時　昭和五十七年二月三日　午前十時
会場　於　当大社祈願殿

昭和五十七年一月吉日
宗像大社社務所

崇敬者各位

賀正

松尚開発株式会社
福岡国際カントリークラブ

西日本最大のチャンピオンコース

福岡県宗像市大字朝町
電話〇九四〇三②三五四四㈹

新年おめでとうございます

○玄海国定公園の中心……風光明媚……生魚料理……宗像大社からバス五分……神湊旅館組合

あけぼの荘　電話玄海②二二六六番
魚屋旅館　電話玄海②二一二二番
みなと荘　電話玄海②二二五五番
玄海旅館　電話玄海②〇〇〇一番
高嘉旅館　電話玄海②一二二一番
千成旅館　電話玄海②〇三〇〇番
望波亭　電話玄海②一八一一番
千鳥荘　電話玄海②〇〇六八番
大島屋旅館　電話玄海②〇五五五番
喜楽旅館　電話玄海②〇三三三番
松風荘　電話玄海②〇一二〇番
友楽旅館　電話玄海②〇二四四番
泉館旅館　電話玄海②〇〇三五番
玄洋荘　電話玄海②二一七二番
川口屋旅館　電話玄海②〇〇四八番
勝浦荘　電話玄海②二四七一番
はま荘　電話玄海②〇五〇〇番
松鶴旅館　電話玄海②〇二九五番